

科目名 (科目番号)	生活環境論 (時間割参照)	教員名 沼尾夏葵・他	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	別紙記載	
授業概要	本科目では、心身に何らかの障害を持つ障害者・高齢者が、生き生きと生活できる住居環境・地域環境は、どのようにあるべきかを解説する。住居環境については、住宅改造・リハビリテーション機器の導入といった物理的環境調整と介護に関する人的環境調整から、望ましい改善方法について学習する。						
目的・目標	目的:障がい者や高齢者の生活における不自由と環境改善の必要性を理解する。 目標:日常生活動作を支援する機器の理解、地域環境および家屋環境の整備について改善案が提示できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	生活環境とは	到達目標:物理的環境、経済的環境、制度的環境、人的環境を理解する。 学習内容:人間の生活環境を多面的に学習する。				
	2	ADLを支援する機器(1)	到達目標:車いすの種類とそれぞれの機能について理解する。 学習内容:各種車いすの紹介と機能の役割について学習する。				
	3	ADLを支援する機器(2)	到達目標:歩行補助具の機能と適応について理解する。 学習内容:さまざまな歩行補助具について、その役割や患者適応について学習する。				
	4	ADLを支援する機器(3)	到達目標:自助具・日常生活用具の役割について理解する。 学習内容:さまざまな自助具・日常生活用具について、使い方や適応について学習する。				
	5	生活環境の評価と改善計画	到達目標:生活環境評価と改善計画の考慮する点について理解する。 学習内容:生活環境改善の実際について学習する。				
	6	地域環境と公共交通	到達目標:地域環境のバリアフリー化について理解する 学習内容:公共交通の実際について学習する。				
	7	転倒予防と環境調整 (烏山診療所:内藤幾愛先生)	到達目標:転倒予防の重要性について理解する。 学習内容:生活環境における転倒のリスクについて学習する。				
	8	疾患別の対応と指導 授業のまとめ	到達目標:疾患別の対応と環境設定について理解する。 学習内容:疾患別の対応と環境設定について学習する。				
成績評価の方法・基準	対面時:期末試験(100%) オンライン時:期末試験(100%:オンライン試験)						
教科書	標準理学療法学専門分野 日常生活活動学・生活環境学 第7版		編集 鶴見隆正		医学書院		
参考図書	Crosslinkリハビリテーションテキスト生活環境学		白田滋		メジカルビュー社		
教員からのメッセージ	できるだけ実践例や映像を交えて講義する予定ですが、授業の進行度合いによって授業内容を変更します。一般病院等で勤務した経験のある理学療法士がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。						